

(1999年3月までの新刊書，内容紹介文は出版社による．出版社五十音順)

数値解析のはなしーこれだけは知っておきたいー

脇田英治＝編著
B6判/本体価格2 000円
1999年1月30日発行/技報堂出版(株)/03-3585-0166

最新の各種数値解析法をやさしく紹介する書．もちろん，詳細な理解には大部の専門書が必要であるが，とりあえず，核心，勘所だけはつかんでおきたいという人向けに，高校卒業程度の数学的知識を前提として解説している．

土木へのアプローチ（第三版）

榎木亨・柴田徹・中川博次＝編著
A5判/本体価格2 800円
1999年1月25日発行/技報堂出版(株)/03-3585-0166

土木という工学を一般の読者向けに紹介する書であり，学生向けの入門書でもある．技術進歩や新たな課題の出現などに対応すべく，2度目の改訂を行い，特に環境問題とのかかわりについての記述の充実がはかられた．

詳述 水理学

池田駿介＝編著
A5判/本体価格6 500円
1999年1月20日発行/技報堂出版(株)/03-3585-0166

個々の原理，定理，基礎方程式等の理解ばかりでなく，それら相互の関係や実務上のテーマとのかかわりの理解に重点をおいて著されたテキスト．乱流理論・乱流モデリングまでを体系的に詳述，環境水理学にも踏み込む．

環境アセスメントここが変わる

「環境アセスメントここが変わる」編集委員会＝編著
A5判/本体価格8 000円
1998年12月21日発行/環境技術研究会/06-6357-7611

6月の環境影響評価法の施行を前にして，豊富なアセス事例に基づいた使えるノウハウ集を目指している．環境庁影響評価指標による法律の効果的な使い方，アセス専門家による事例研究，アセス情報などを収録している．

海洋環境学ー海洋空間利用と海洋建築物ー

佐久田昌昭・川西利昌・堀田健治・増田光一＝編著
A5判/本体価格2 500円
1999年1月30日発行/共立出版(株)/03-3947-2511

最近さまざまな地球環境問題に，直面している人類は，ここにきて海洋建築物と海洋空間利用を学ぶ必要が生まれてた．その海洋空間資源をより高度に多目的に利用する上でのやさしい解説書である．

新・北海道飛躍のシナリオ

北海道の未来を展望するエンジニアの会・大橋猛＝編著
A5判/本体価格1 905円
1999年1月11日発行/(株)クレオ・ムイナス/011-643-5145

本書は，津軽海峡大橋構想の提唱で知られる北海道開発局の技術者，故大橋猛氏の遺稿となった提言集で，厳しい状況にある北海道の可能性を，「技術は夢を現実にする」を基本理念とし世界的な視野で多面的に提言．

阪神・淡路大震災と神戸の地盤ー「神戸 JIBANKUN」の構築ならびに地盤と被害の分析ー

神戸市＝編著
A4判/本体価格2 000円
1999年3月下旬発行/(財)建設工学研究所/078-851-1850

阪神・淡路大震災の被害が大きかった地域の分布は，非常に複雑な形状をしており，地盤の影響が大きいと考えられる．本書は，神戸市が震災後3年間をかけて膨大な数の被害と地盤の情報を整理，分析した調査の報告書である．

新・土木構造物設計計算例 直接基礎および橋台・橋脚の設計計算例

平原勲・岡文治＝編著
B5判/本体価格7 000円
1999年1月25日発行/(株)山海堂/03-3816-1617

本書は，阪神淡路大震災の教訓から平成8年に改訂された道路橋指示書に基づき，よく用いられている鉄筋コンクリート造りの直接基礎および橋台・橋脚の設計計算例について述べたものである．

平成のニューディール 道路による産業・国土改造

佐藤亮典＝編著
四六判/本体価格2 000円
1998年11月9日発行/(株)プレジデント社/03-3237-3731

その膨大な経済効果にも関わらず，道路は政治・経済の片隅に置かれ，公害や渋滞のイメージによって一方的に批判攻撃されてきた．政治や世論に対して道路を紹介しその言い分を主張して，理解を求めたもの．